

- ・古今伝授の間の視点場に立つ人の目と成趣園周囲の樹木先端を結ぶ延長線の内側におさまる建築物等の高さ（ h_1 ）については、以下の簡易算定式で求める。

$$h_1 = L \times \tan \theta + h_0 - h_2$$

h_0 ：視点の高さ（海拔 10 m） L ：視点場から建設地までの距離
 h_1 ：建設可能な建築物等の高さ θ ：仰角 = 5 度
 h_2 ：建設地の地盤高（海拔）

※仰角 = 5 度とは、視点場に立つ人が、成趣園東側周囲の樹木先端が形作る輪郭線を見上げる平均的な角度である。

- ・ただし、景観シミュレーションにより、樹木に隠れることが確認できる場合は、この限りではない。

